

消 こんにちは！
生活相談室です 100
消費生活相談室 ☎47-1106 FAX44-7957

◆事例
出会い系サイトの畏
携帯電話で無料の占いサイトに入り、個人情報を入力したところ、出会い系サイトから複数のメールが届くようになった。メールをやり取りするための無料ポイントがすぐに使い果たしたが、「メール交換してくれたら1千万円をあげるから心配いらない」と言ってきた異性を信じてクレジットカードでポイントを購入し、メールを交換し続けた。
その後、何度か会う約束をするものの、いつも直前になって相手に一方的な都合ができて会えず、お金を受け取ることができない。
クレジット会社から高額な請求が届いたが支払いができない。

◇『お金をあげます』『自分は芸能界の関係者』などとサイト利用者の心理を巧みにつかんでメールを送ってきます。会う約束をしても直前にさまざまな理由をつけられ、結局会うことはできません。
◇画像などのポイントを多く消費するメールを送ってきたり、サイト業者を通さずに個人的にメールのやり取りをしたいと提案しても応じてくれません。
◇不審な点を指摘すると逆上したメールが送られてきます。
◆アドバイス
出会い系サイトのポイント購入は、電子マネーやクレジットカード決済で行われるため、気づかないうちに金額が膨れ上がる可能性があります。相手の巧みなメールの罠にかからないよう、特に注意が必要です。
☒相談受付時間 毎週月～金曜日
午前9時～正午・午後1時～4時

み んなで拓く人権文化 86
地域振興課人権政策室 ☎47-1102

人権ふれあいフェスティバル
境港市人権ふれあいフェスティバルが今年も世界人権デー（12月10日）近くの12月12日（日）に文化ホールで開催されます。現在、市報で公募した人など25人の実行委員で内容を協議しながら、一つ一つ準備を進めているところです。
講演会では、ピアノリストの清水紘子さんに「盲導犬とともにトーク&ピアノ演奏のステージ」くいちばん大切にしたいのは、思いやりの心」と題して講演とピアノ演奏をしていただきます。
清水紘子さんは、小学1年生の時に右眼を、高校3年生のときに左目を失明されました。そのような中でも家族や友人の支えを受けることにより、2000年に大阪音楽大学ピアノ専攻を卒業されました。現在

は、2005年から生活を共にしている盲導犬と一緒に演奏と講演会活動を行なわれています。
講演会のほか、例年好評をいただいている女性団体連絡協議会などによる各種バザーや、まつぼっくりの皆さんによる太鼓演奏も行なわれます。
また、昨年は実行委員の発案から、児童の人権作品の展示を小学校のご協力により行ないました。人権教育の発表の場として活用してもらうことで、保護者の関心も喚起することができましたので、今年も継続して取組みたいと考えています。
普段、人権侵害や差別は自分とは関係ないと考えている人が多いのではないのでしょうか。しかし、それは現実に社会に存在します。人権ふれあいフェスティバルは、実行委員の皆さんとともに、このコーナーの表題である「みんなが拓く人権文化」のまちづくりに向け協働で行なう催しです。ぜひご来場ください。

今月のサロンコンサート

「秋の月夜の音楽会
～クラリネットアンサンブルの夕べ～
月とき・ところ 9月24日（金）午後7時30分～8時40分
文化ホール（入場無料・飲み物は有料）
月出演 アンサンブル・ヴァンヴェール（クラリネット）
県西部地区で活動するクラリネット奏者を中心に結成された「アンサンブル・ヴァンヴェール（緑の風）」。クラリネットが作り出すあたたかな音色をどうぞお楽しみください。
（問合せ先 生涯学習課文化体育係 ☎47-1093）



お忘れなく！
固定資産税 3期
国民健康保険税 3期
後期高齢者医療保険料 3期
の納期限は
9月30日（木）です。
・便利な口座振替をご利用ください。
・納期限内に納付がない場合、納期限後20日以内に督促状を発送します。

図書館に行こう！
（市民図書館 ☎47-1099 ホームページアドレス <http://lib.city.sakaiminato.tottori.jp/>）

あなたは社交的かそうでないか、脳を見ればわかる？よく眠れるひとは記憶力がいい？認知神経科学研究の最前線。

『うつ病の本』 衛藤理砂・岡村志津英他
『個性のわかる脳科学』 金井良太
『星の王子さま』事典 三野博司

戦後、人々は戦争との距離をはかつて自らのアイデンティティを確認し、主体を形成してきた。戦後日本社会の特質。

『戦争経験の戦後史』 成田龍一
『個性のわかる脳科学』 金井良太

◆今月の新規・寄贈図書
◇どうしてアフリカ？どうして図書館？（さくまゆみこ）◇シゲコ！ヒロシマから海をわたって（菅聖子）◇席を立たなかつたクロード（フィリップ・フー）◇私が見た戦争（石川文洋）◇「暮らした手帳」とわたし（大橋鎮子）◇「七人の侍」と現代（四方田大彦）◇お父さんとオジサン（伊集院静）◇一週間（井上ひさし）◇一番しやなぎやダメですか？（蓮舫）◇百年前の女の子（船曳由美）◇アガサ・クリステイを訪ねる旅（平井杏子）◇水木しげるの資本漫画のすべて（山口信二）◇龍馬伝Ⅲ（福田靖）◇百姓探訪（立松和平）◇ほか計497冊

◆図書館利用案内
◇貸出カードの作り方 住所氏名などを証明するものを持参してください。
◇貸出冊数・期間 1人5冊・2週間



あの写真 この写真
大正七年六月三日の隠伯新報に「境町山陰造船所職工二百余名により、同造船場主林徳助翁の記念碑が竣工。去る六月一日午前十時から同町停車場通り大正橋詰の記念碑前にて除幕式を挙行。当日は晴天にて人出多く海岸通りにて煙火数発を打ち上げた。」とあります。右の写真で現在の大正橋風景

造船家林徳助翁記念碑除幕式（写真提供：渡辺静子）

当時の様子が変わります。この記念碑は終戦の年の玉栄丸の爆発事件に際しても倒壊せず、当時の子どもたちの格好の遊び場となっていたと、往時を知る人は伝えていきます。
和船から洋式大型船に移行する明治期の要請に込め、最新型の造船建造を推進した林徳助は、境の造船業近代化に一大足跡を残したといわれています。その徳助翁も記念碑竣工を見届けたかのように同年八月に六七才の生涯を終えます。
記念碑はその後、戦後復興の為の区画整理により昭和二十四、五年頃に台場公園南に移転され、お台場地先にあつた徳助翁の自宅跡を見つめています。
天保六年（一八三五）、大正川西に設置された鳥取藩の鉄山融通会所が境港の経済発展の始まりで、明治以降はこの融通会所跡に各銀行が進出し、多くの倉庫が建ちました。それに伴い港に関連する各種商店や旅館が軒を連ねる活気のある大正川界隈でしたが、二度にわたる大火（昭和十年の境港大火・昭和二十年の玉栄丸爆発）を経験しています。
そして今、水木しげるロードの観光客の歓声が、新しい時の流れを教えてください。
（市史編さん室 小灘浩）